

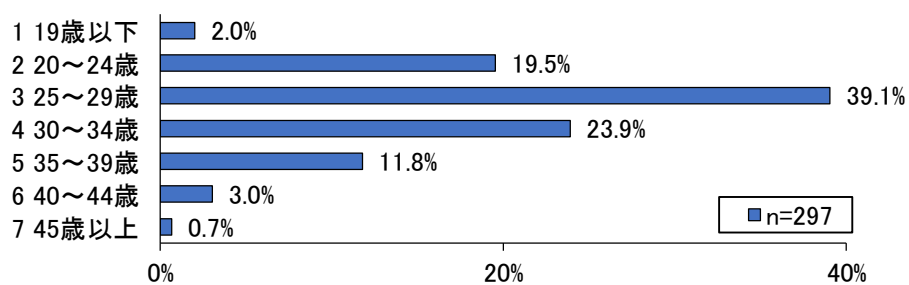
6. 子どもがいる人の回答

問24 あなたの第1子が生まれたとき、あなたと、相手となる父親(あるいは母親)は何歳でしたか。

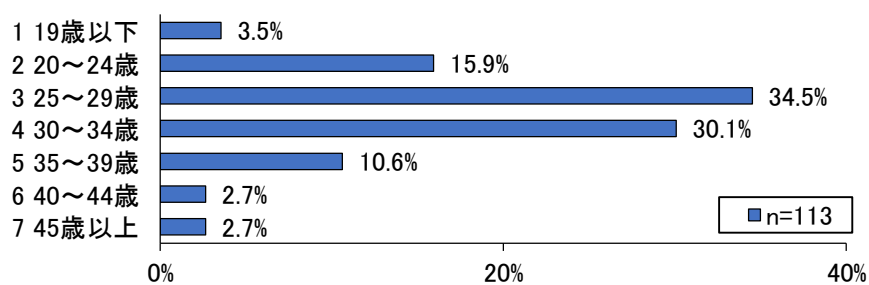
全体では、母親の年齢は「25～29歳」の割合(39.1%)が最も高く、次が「30～34歳」(23.9%)となっています。父親の年齢は「25～29歳」の割合(34.5%)が最も高く、次が「30～34歳」(30.1%)となっています。

<全体>

・母親の年齢



・父親の年齢



問25 第1子が生まれたときのあなたの年齢についてどのように考えられますか。

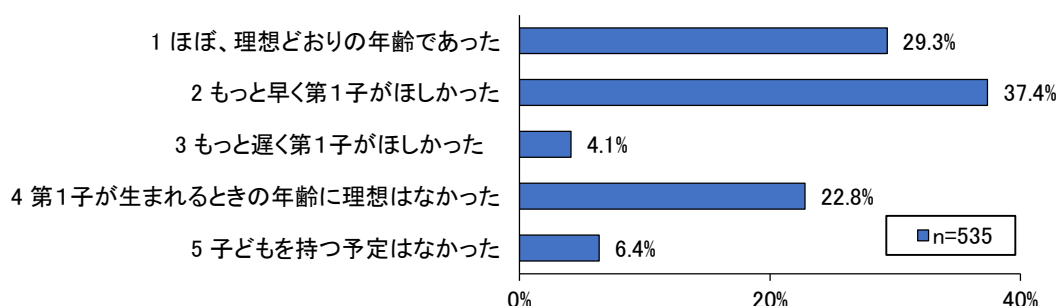
次の項目の中から1つだけ選んで○をつけてください。

全体では、「もっと早く第1子がほしかった」の割合(37.4%)が最も高く、次が「ほぼ、理想どおりの年齢であった」(29.3%)となっています。

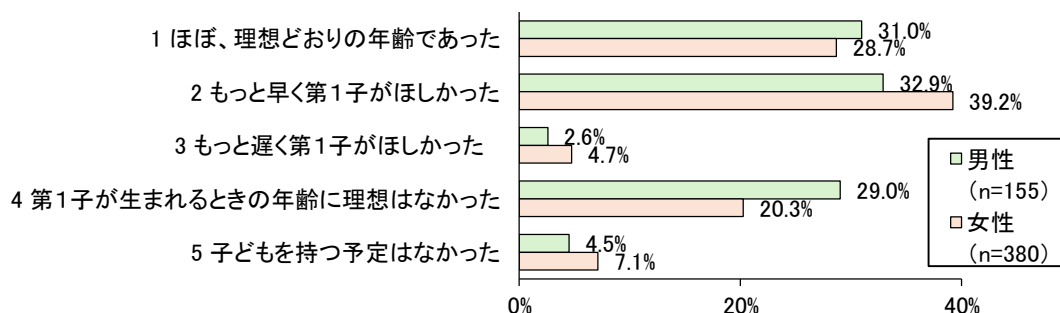
性別では、男性は「もっと早く第1子がほしかった」の割合(32.9%)と「ほぼ、理想どおりの年齢であった」(31.0%)がほぼ同程度となっています。女性は「もっと早く第1子がほしかった」の割合(39.2%)が「ほぼ、理想どおりの年齢であった」(28.7%)を10.5%上回っています。

年代別では、20歳代は「ほぼ、理想どおりの年齢であった」の割合が54.5%で全体(29.3%)を25.2ポイント上回っています。30歳代と40歳代は全体とほぼ同じ結果となっています。(※但し、20歳代の母数は少ない。)

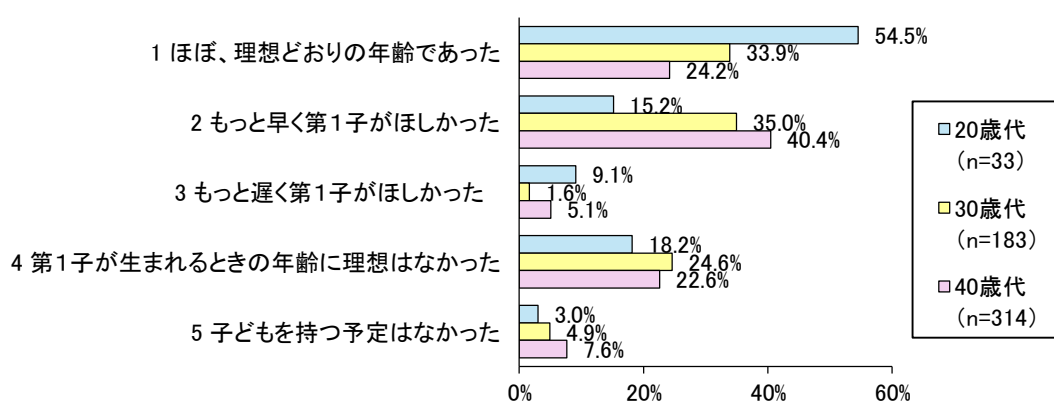
<全体>



<性別>



<年代別>



問26 結婚してから第1子が生まれるまでの期間には、どのようなことが影響したと考えられますか。

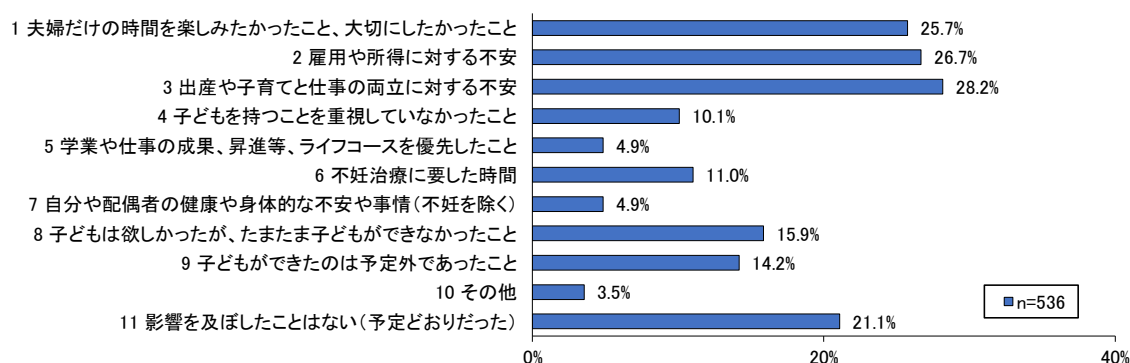
次の項目の中から3つまで選んで○をつけてください。

全体では、上位の3項目は「出産や子育てと仕事の両立に対する不安」の割合(28.2%)が最も高く、次いで「雇用や所得に対する不安」(26.7%)、「夫婦だけの時間を楽しみたかったこと、大切にしたいかったこと」(25.7%)となっています。なお、「影響を及ぼしたことはない(予定どおりだった)」は21.1%となっています。

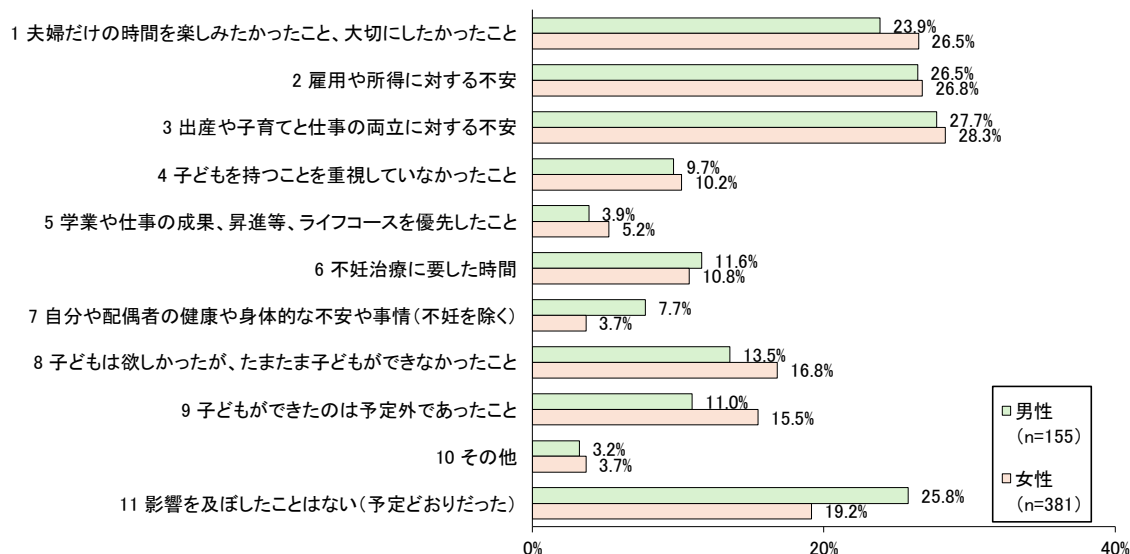
性別では、男女とも上位の項目の順位と割合は全体とほぼ同じ結果となっています。その中で、「影響を及ぼしたことはない(予定どおりだった)」の割合は男性が女性を6.6ポイント上回っています(男性:25.8%、女性:19.2%)。

年代別では、各年代とも上位の項目の順位と割合は全体とほぼ同じ結果となっています。その中で、「雇用や所得に対する不安」と「出産や子育てと仕事の両立に対する不安」の割合は年代が下がるが高まっています。

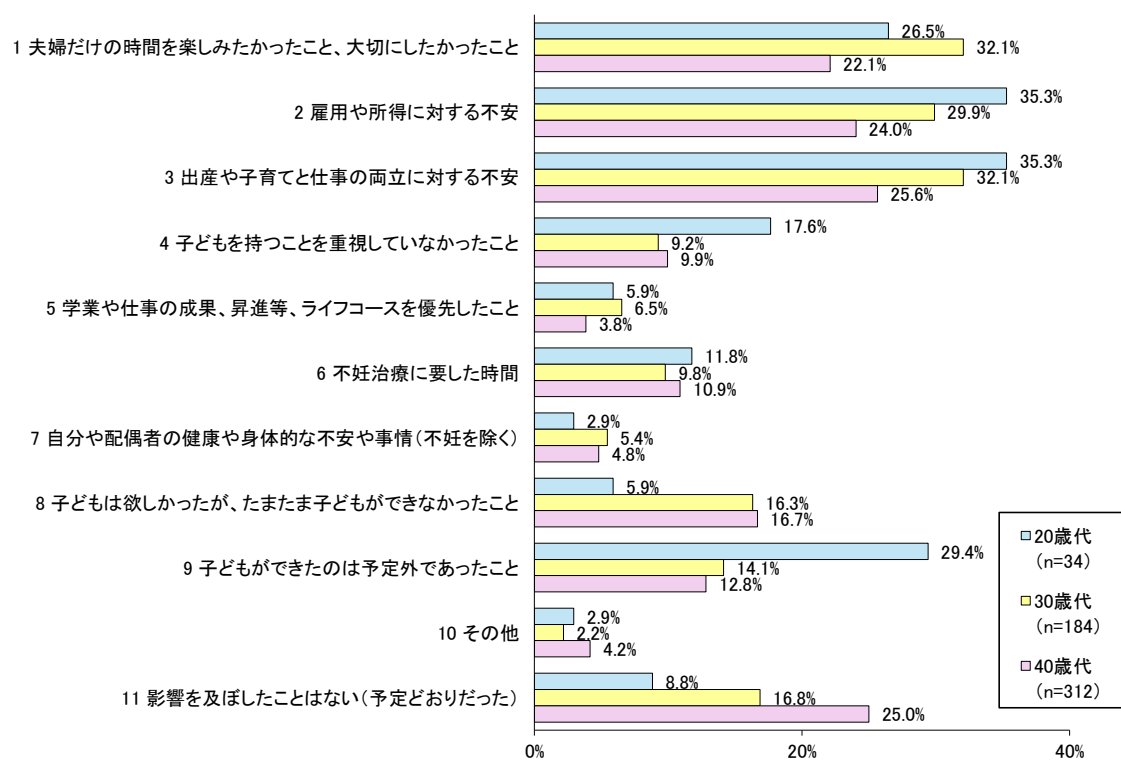
<全体>



<性別>



<年代別>



問27 あなたは、子育ての際に生じた不安や悩みを誰に相談していますか(相談していましたか)。

次の項目から3つまで選んで○をつけてください。

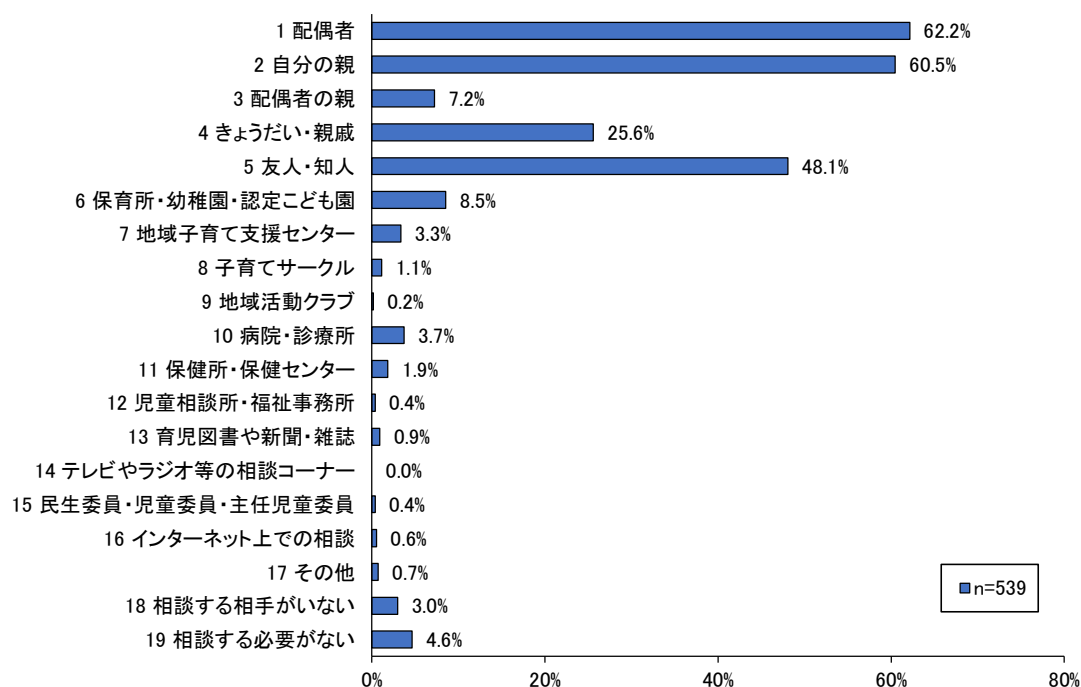
全体では、上位の3項目は「配偶者」の割合(62.2%)が最も高く、次いで「自分の親」(60.5%)、「友人・知人」(48.1%)となっています。なお、「地域子育て支援センター」「保健所・保健センター」「児童相談所・福祉事務所」「民生委員・児童委員・主任児童委員」など公的機関の割合は低い状況となっています。

性別では、男女とも上位の項目の順位は全体とほぼ同じとなっています。その中で、女性が男性を上回っている項目は、「自分の親」(女性:65.3%、男性:48.7%…16.6ポイント差)、「友人・知人」(女性:52.5%、男性:37.2%…15.3ポイント差)、「きょうだい・親戚」(女性:30.0%、男性:14.7%…15.3ポイント差)となっています。なお、男性は「相談する必要がある」の割合(男性:13.5%、女性:1.0%)が女性を12.5ポイント上回っています。

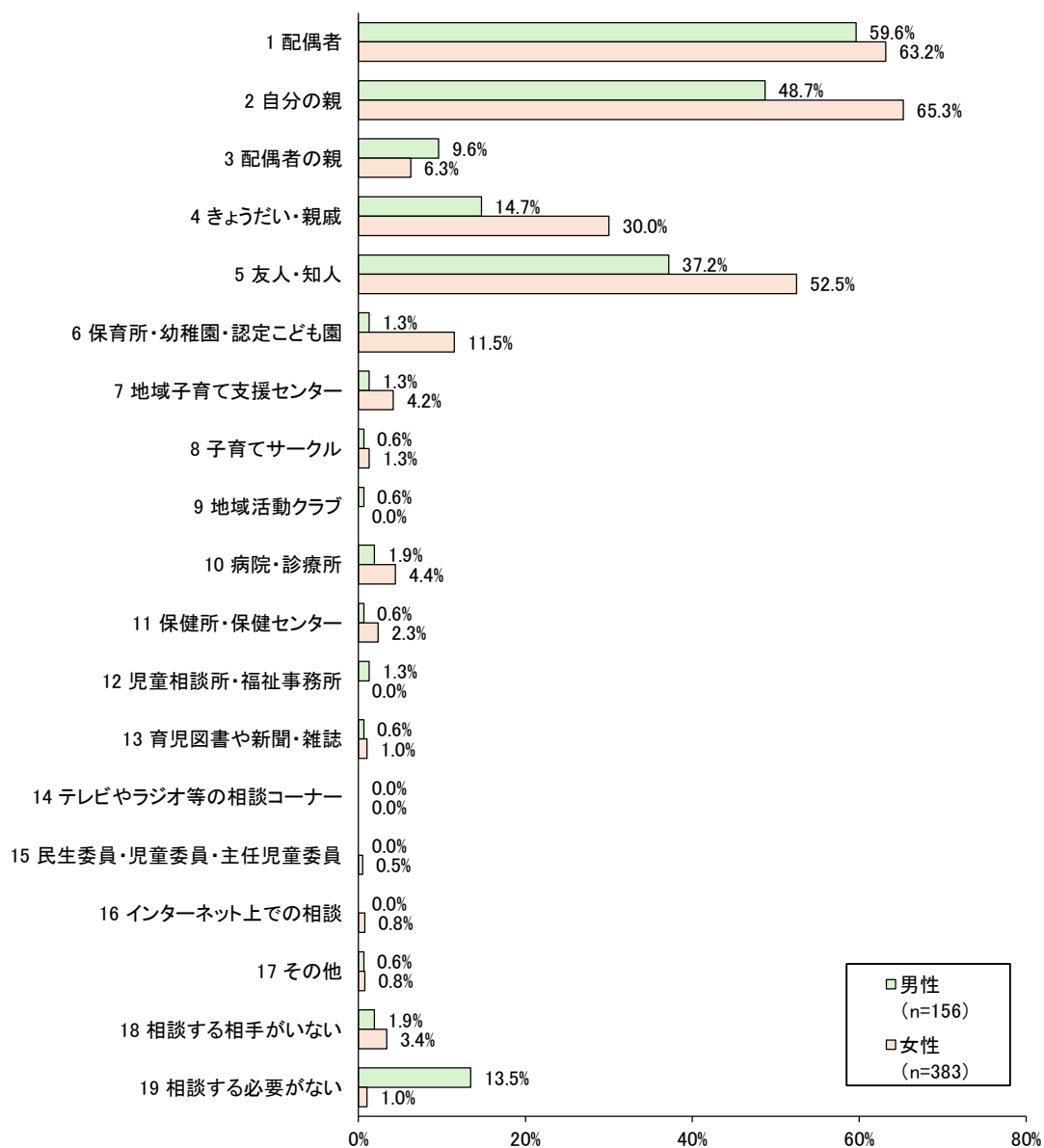
年代別では、各年代とも上位の項目の順位と割合は全体とほぼ同じ結果となっています。

過去調査との比較では、上位の項目の順位はほぼ同じ結果となっています。その中で、「配偶者」(平成26年度:72.5%→令和元年度:72.3%→令和6年度:62.2%)、「自分の親」(平成26年度:64.3%→令和元年度:64.7%→令和6年度:60.5%)、「友人・知人」(平成26年度:58.9%→令和元年度:50.7%→令和6年度:48.1%)の割合は低下する傾向で推移しています。

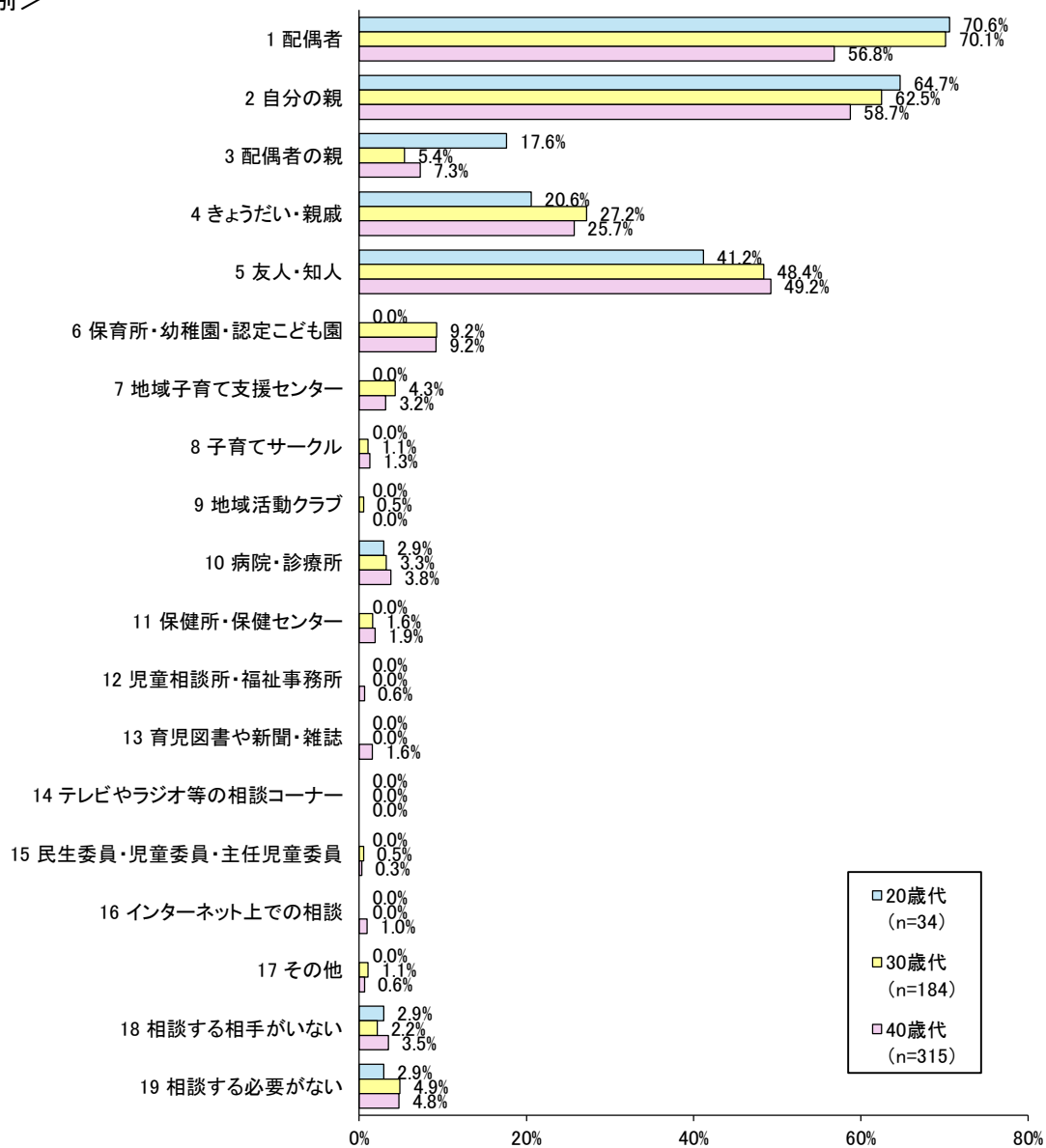
<全体>



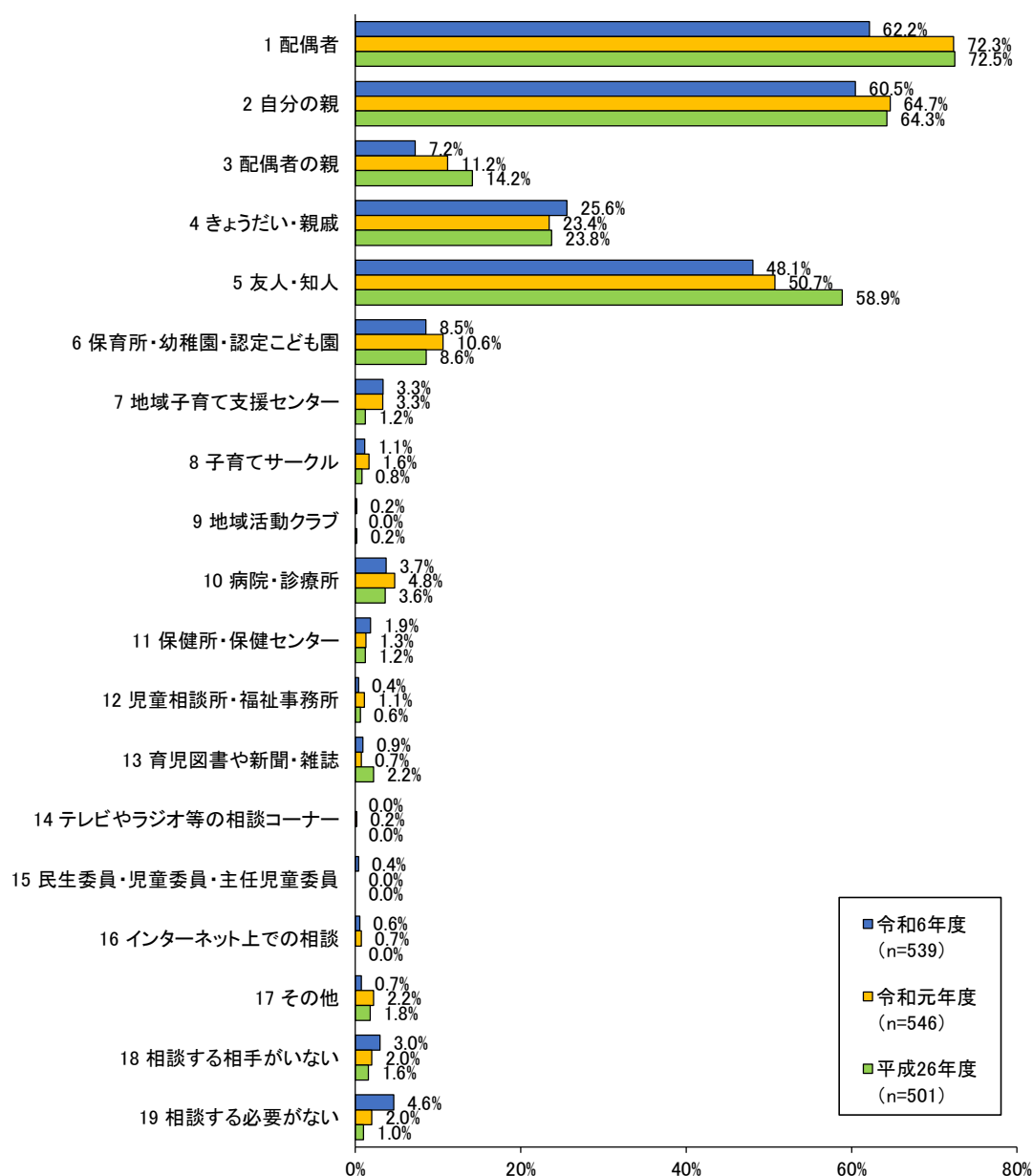
<性別>



<年代別>



<過去調査との比較>



問28 子どもとの外出の際、困ることや困ったことはありますか。

次の項目から3つまで選んで○をつけてください。

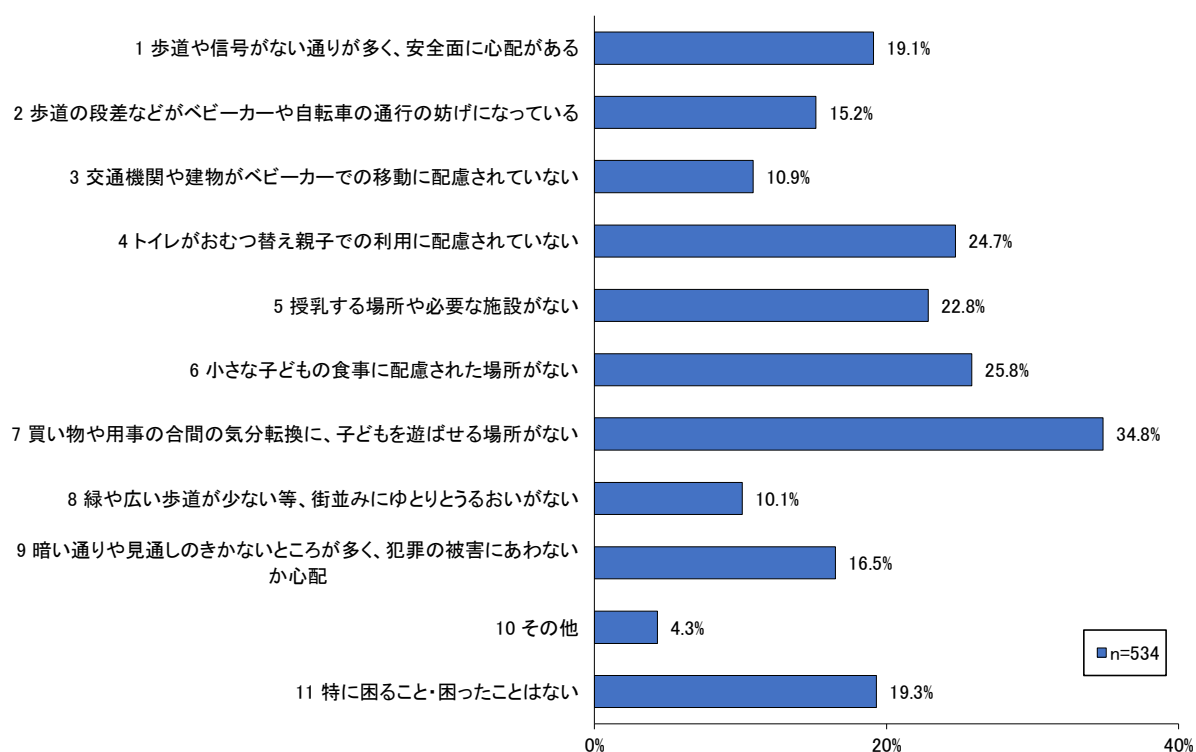
全体では、上位の3項目は「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」の割合(34.8%)が最も高く、次いで「小さな子どもの食事に配慮された場所がない」(25.8%)、「トイレがおむつ替え親子での利用に配慮されていない」(24.7%)となっています。なお、「特に困ること・困ったことはない」は19.3%となっています。

性別では、男女とも上位の項目の順位と割合は全体とほぼ同じ結果となっています。その中で、「授乳する場所や必要な施設がない」の割合は女性が男性を14.8ポイント上回っています(男性:12.3%、女性:27.1%)。

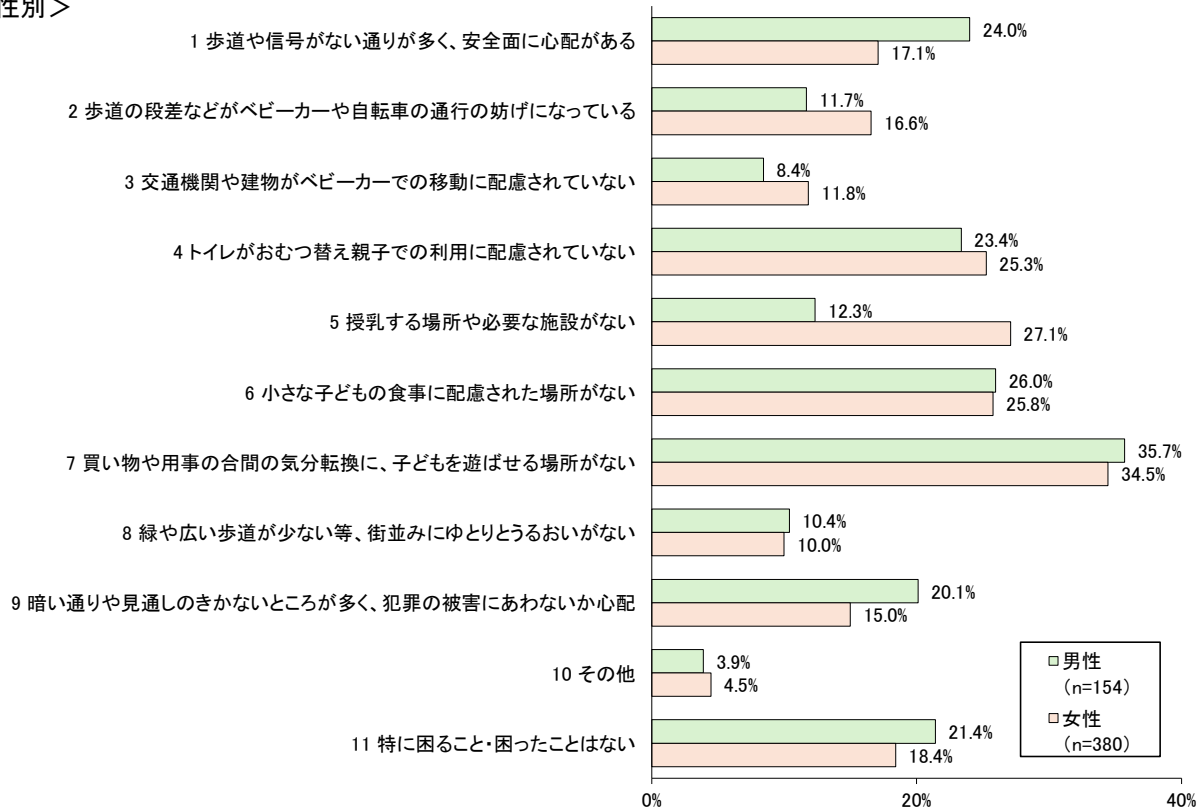
年代別では、各年代とも上位の項目の順位と割合は全体とほぼ同じ結果となっています。

過去調査との比較では、上位の項目の順位はほぼ同じ結果となっています。その中で、「小さな子どもの食事に配慮された場所がない」(平成26年度:30.3%→令和元年度:30.6%→令和6年度:25.8%)と「トイレがおむつ替え親子での利用に配慮されていない」(平成26年度:28.5%→令和元年度:26.0%→令和6年度:24.7%)の割合は低下する傾向で推移しています。

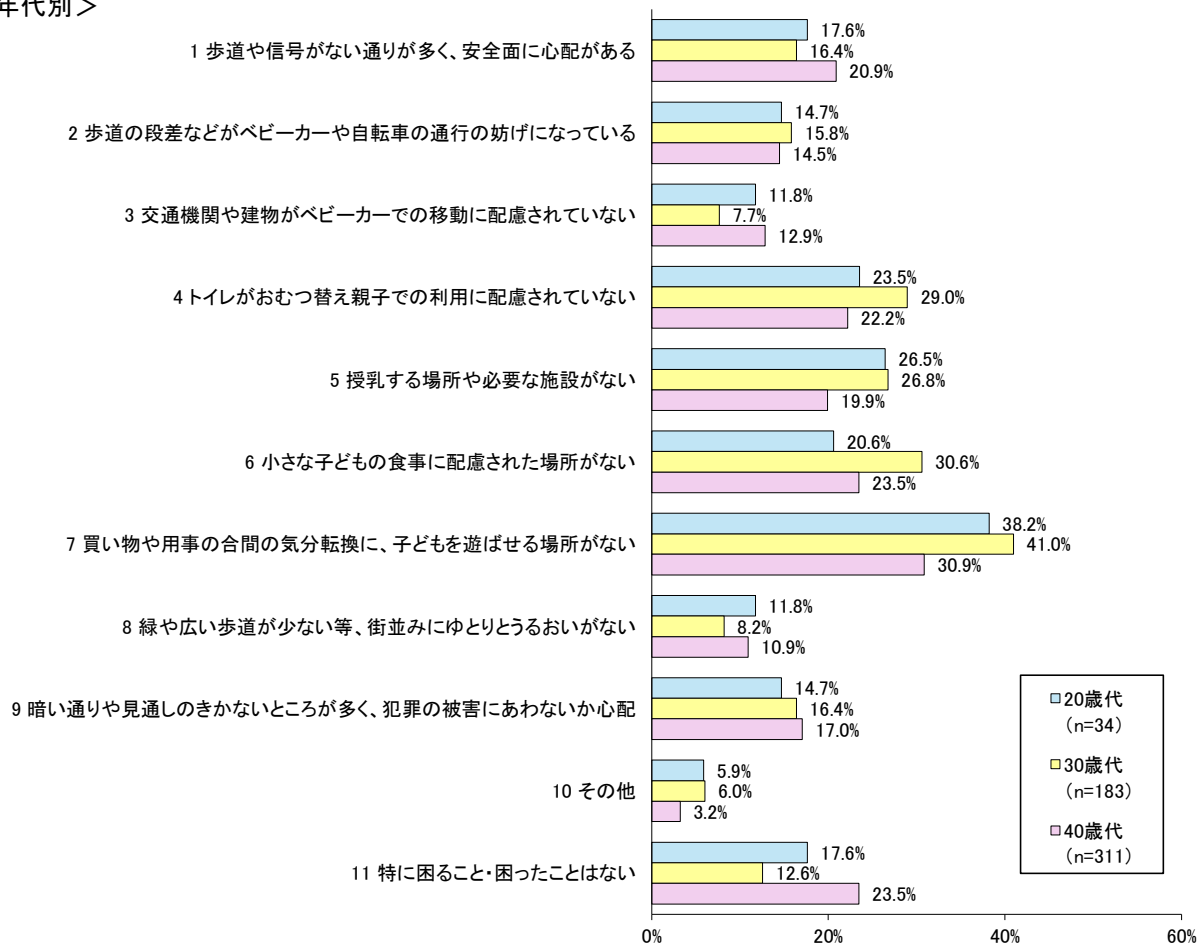
<全体>



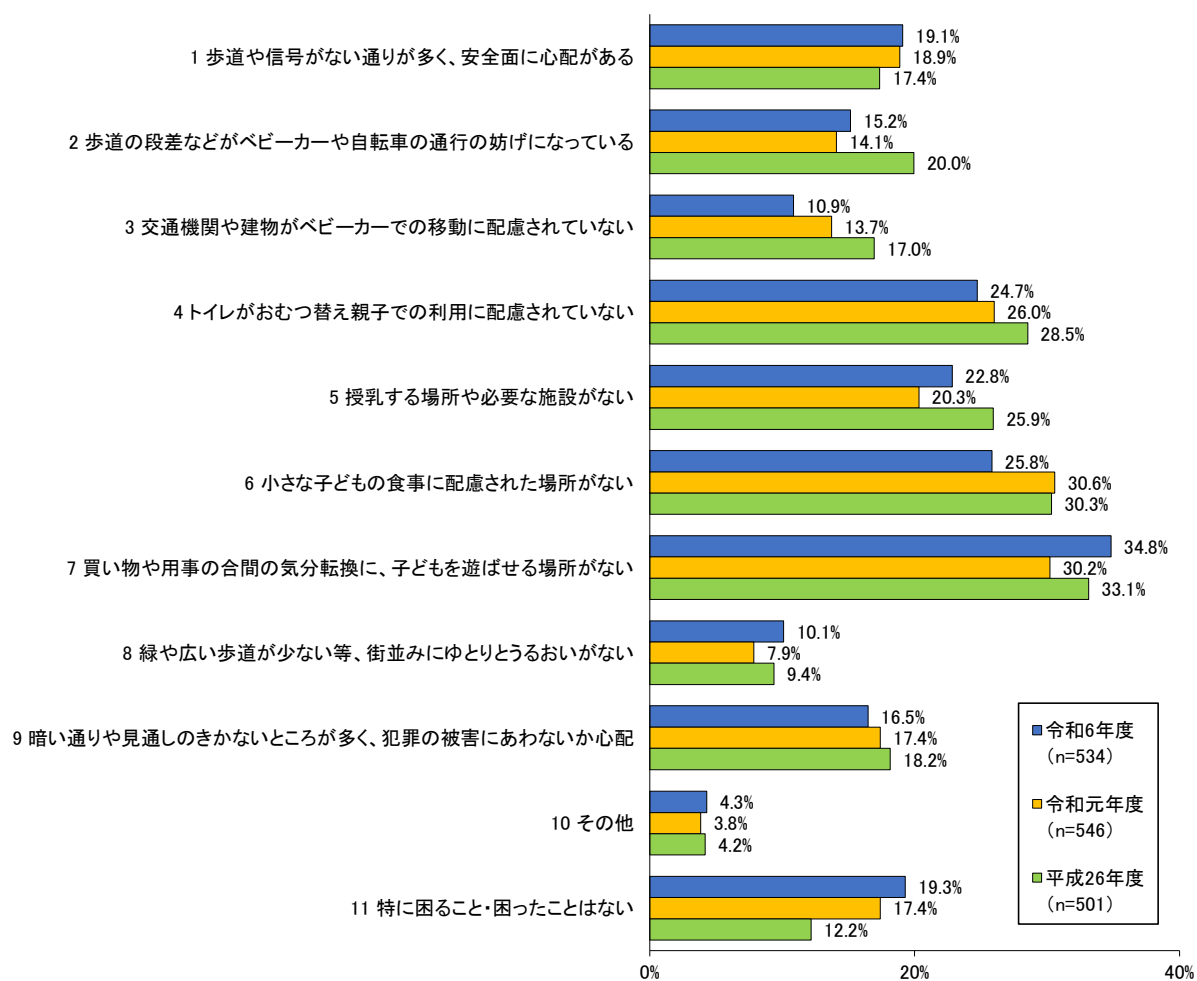
<性別>



<年代別>



＜過去調査との比較＞



問29 あなたが急な用事等の場合に、子どもを預ける(預けた)ところはどこですか。

次の項目の中からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

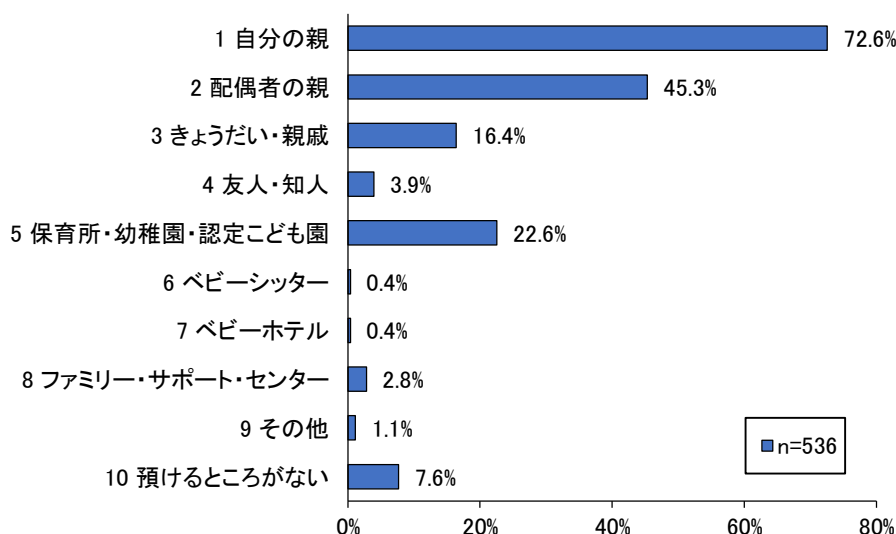
全体では、「自分の親」の割合(72.6%)が最も高く、次が「配偶者の親」(45.3%)となっています。

性別では、男女とも上位の項目の順位は全体とほぼ同じとなっています。その中で「配偶者の親」の割合は男性が女性を19.3ポイント上回っています(男性:59.0%、女性:39.7%)。

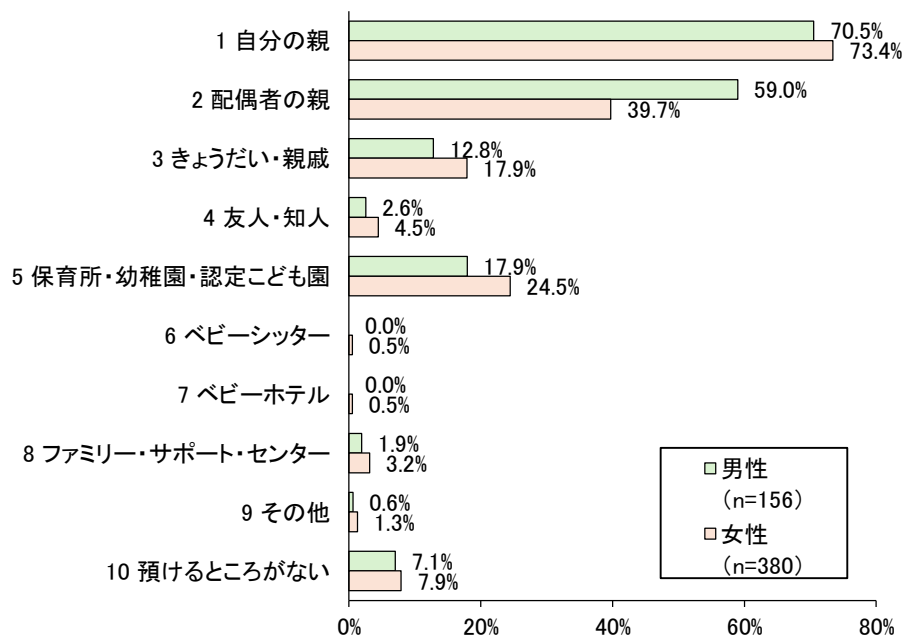
年代別では、各年代とも上位の項目の順位と割合は全体とほぼ同じ結果となっています。

過去調査との比較では、上位の項目の順位はほぼ同じ結果となっています。その中で、「配偶者の親」の割合は低下する傾向で推移しています(平成26年度:49.7%→令和元年度:43.0%→令和6年度:45.3%)。

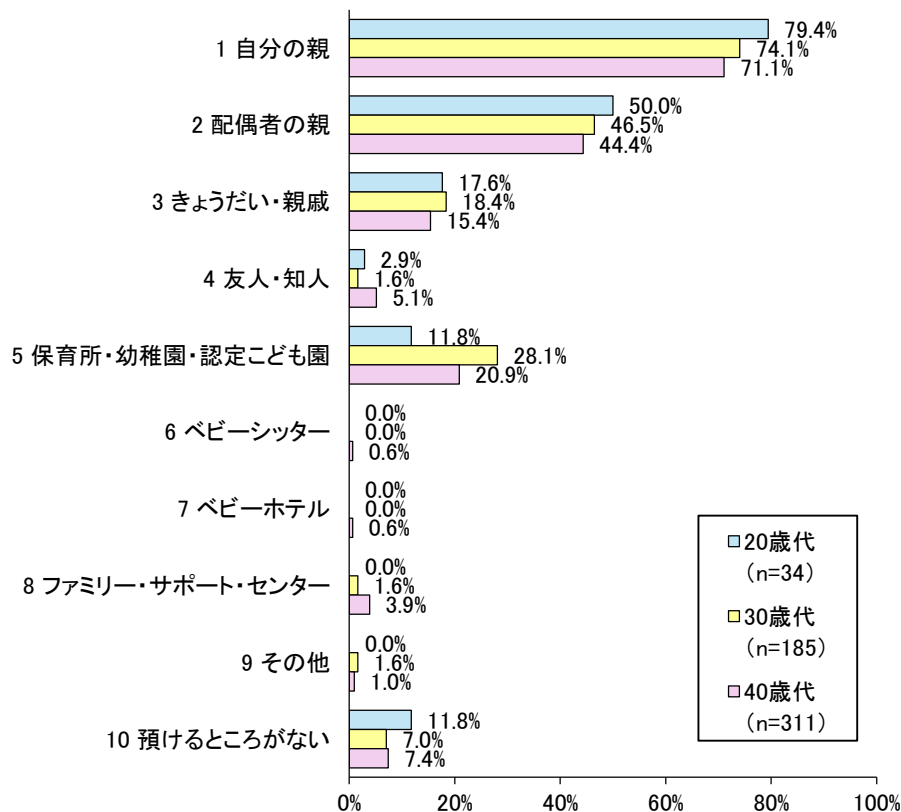
<全体>



<性別>



<年代別>



<過去調査との比較>

